

# 第24回東京湾シンポジウム

海生生物の移動によって形成される生息場のネットワークに関する研究

日時 2024年10月18日（金）13:00～17:15（受付開始12:00）

意見交換会 17:15～18:30

場所 横浜港 大さん橋 国際客船ターミナル2F 大さん橋ホール

主催 国土交通省 国土技術政策総合研究所

東京湾で生活する多くの生物は、成長と共に生息場を移動することで生活史を全うしています。また、複数の生息場間を多くの生物が行き来することで、青潮等に対する生物の持続性を高めています。このように、生物の移動によって形成される生息場のネットワークは、生物が生存・存続する上で重要です。そこで本講演では、生息場のネットワークをキーワードとして、工学、環境学、水産学など様々な分野の研究を紹介していただきます。また、ポスターセッションでは、東京湾または沿岸域の環境に関する取組みを紹介していただきます。東京湾や閉鎖性内湾の環境に関する情報収集・交換、交流の場としてもご活用下さい。

## プログラム

### <シンポジウム>

開会挨拶【趣旨説明】

国土技術政策総合研究所 秋山 吉寛

講演1【ネットワークのつながりに着目した研究】

遺伝的構造からみた半陸生カニ類の地域個体群間の交流についての検討 国立環境研究所 柚原 剛  
横浜・金沢湾におけるブルーカーボン動態 港湾空港技術研究所 渡辺 謙太  
鳥の目に風車はどう映る？—洋上風力開発と鳥類の関係と課題— 電力中央研究所 白井 正樹

### <ポスターセッション>

【企業、市民、団体、研究機関、大学等による、東京湾または沿岸域の環境に関する活動・研究等の紹介】

講演2【ネットワークでつながる場に着目した研究】

東京湾奥部の干潟の魚類生育場としての機能～運河域に造成した干潟と多摩川河口干潟の事例～ 多摩川河口干潟ワイズユースPT 竹山 佳奈  
クラゲの近年の動向と付着場所 東京海洋大学 石井 晴人  
千葉県内房沿岸における磯焼けの現状と磯根資源の動向 千葉県水産総合研究センター 小宮 朋之

閉会挨拶

### <意見交換会>

時間：17時15分から18時30分

## 申し込み方法

事前にwebサイト、QRコードよりお申込み下さい  
<https://forms.gle/nZ2DkZ4xnfxbm51u9>



本シンポジウム（13:00～17:15のシンポジウム）は土木学会CPDプログラムの認定を受けています。  
認定番号：JSCE24-0995  
単位数：4.0単位



主催：国土交通省 国土技術政策総合研究所  
後援：東京湾再生官民連携フォーラム、東京湾の環境をよくするために行動する会

問い合わせ先：国土技術政策総合研究所 海洋環境・危機管理研究室

TEL：046-844-5023/FAX：046-844-1145

URL：<https://www.yokohama.go.jp/kakubu/engan/kaiyou/kenkyu/tkbs-reports.html>

E-mail：[ysk.nil-tokyo2024@gxb.mlit.go.jp](mailto:ysk.nil-tokyo2024@gxb.mlit.go.jp)